

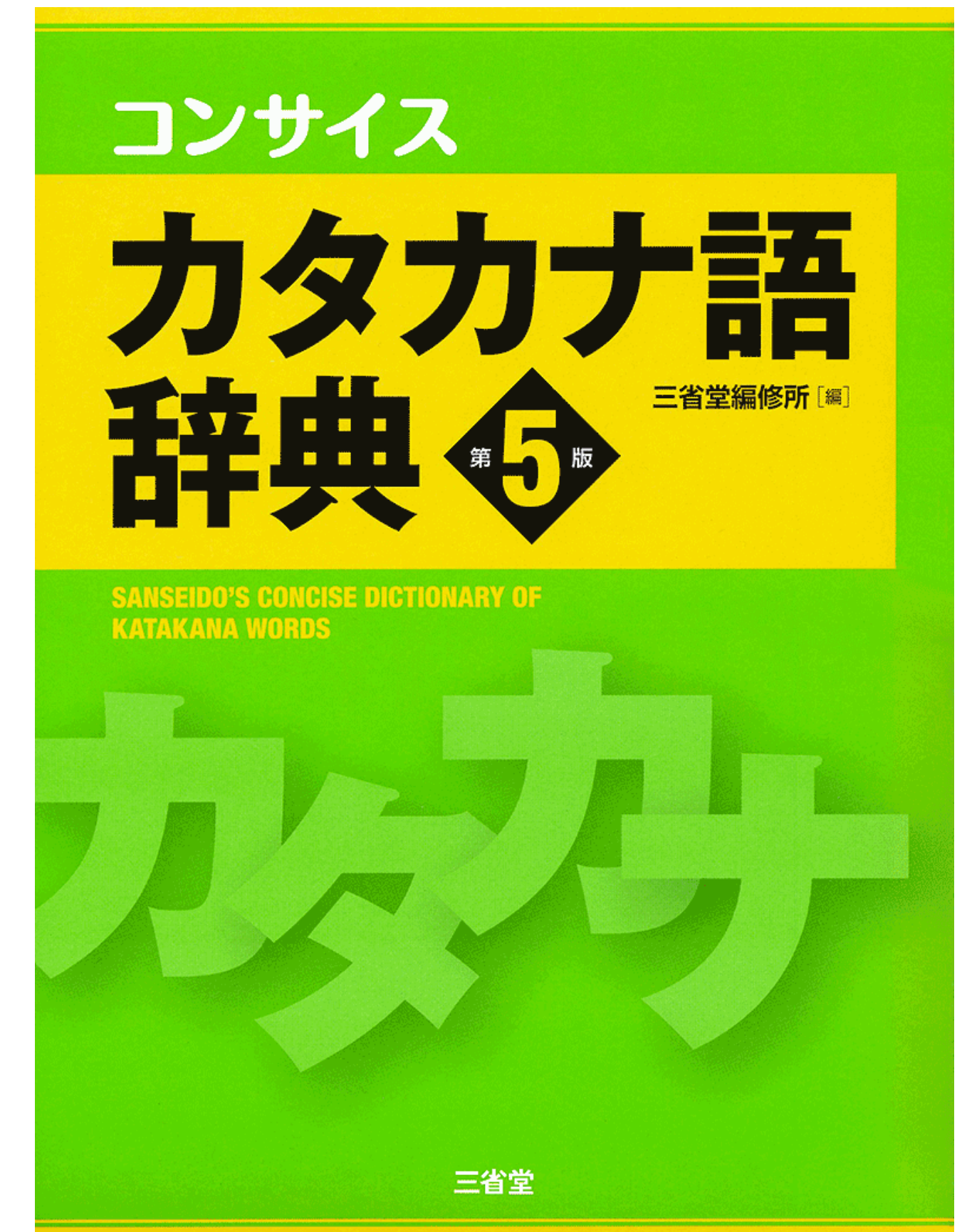
コンサイスカタカナ語辞典および国語辞書 における外来語見出し語の表記について

2026年8月7日 外来語小委員会ヒアリング

山本康一（三省堂 辞書出版部）

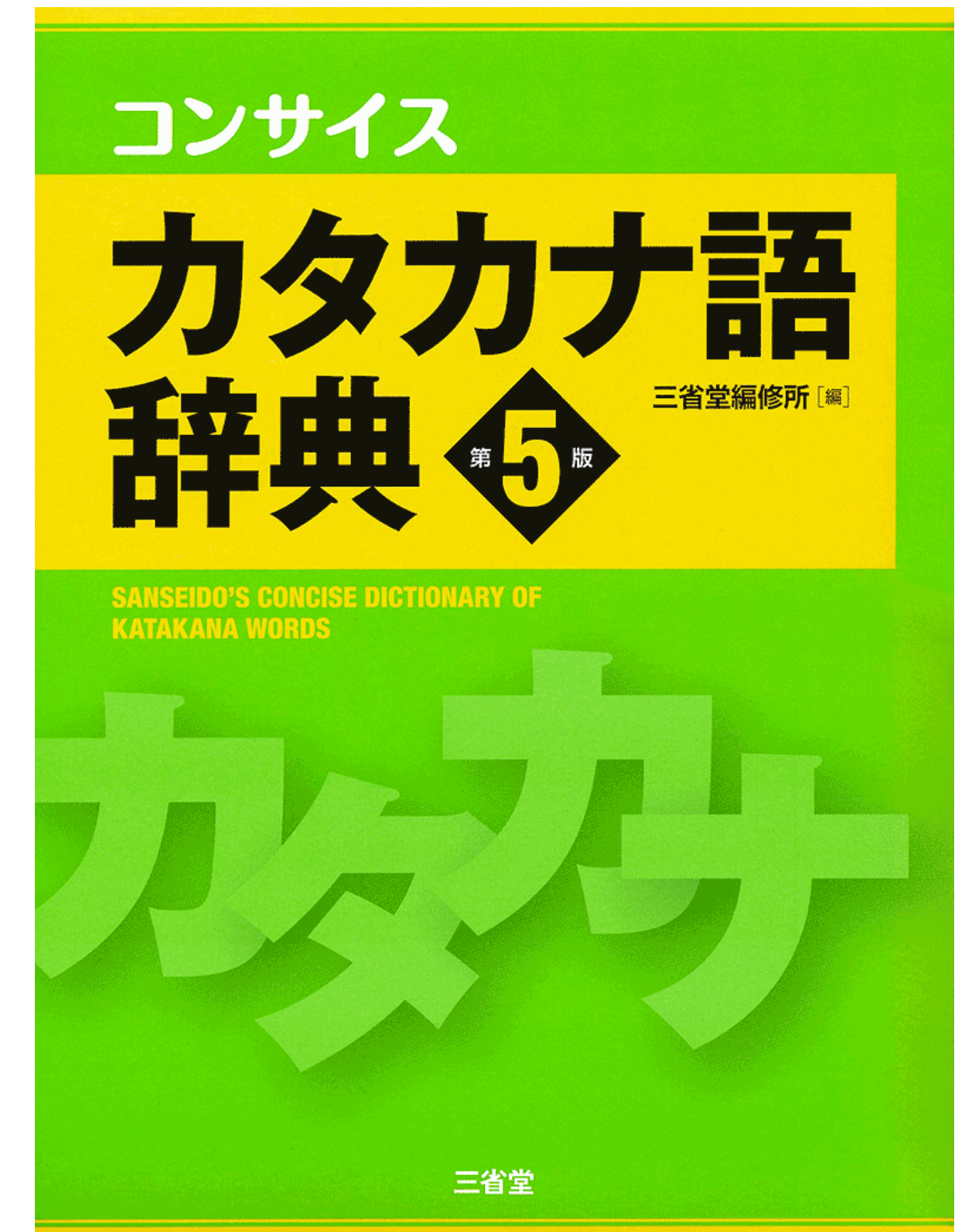
コンサイスカタカナ語辞典について

- ▶ 1972年 コンサイス外来語辞典 初版
- ▶ 1987年 第4版
- ▶ 1994年 コンサイスカタカナ語辞典（書名変更）初版
- ▶ 2020年 コンサイスカタカナ語辞典 第5版



コンサイスカタカナ語辞典について

- ▶ 現在および過去も含めてカタカナで表記され、流通する語約58,500語収録。
（凡例 0.収録項目 0.1）
- ▶ 外来語のみならず、流行語や俗語などカタカナ表記されることの多い語、さらにアルファベットや数字交じりで表記される語まで広く採録。（凡例 0.収録項目0.2）
- ▶ 借入時代の表示がある
- ▶ 巻末に「外来語の表記」（平成3年内閣告示）掲載
- ▶ 第3版（2005年）までは外国語辞書編集室、第4版以降は国語辞書編集室が担当。
- ▶ 配列は、第4版までは長音を省いて配列するいわゆる「事典式配列」であったが、第5版からは長音を直前の母音の連続として配列する「国語辞書式配列」に変更した。



コンサイスカタカナ語辞典の表記法

▶ 凡例 2. 表記法 2.1：

- ①原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」による（その考え方による）
 - 「考え方」＝留意事項その1（原則的な事項）：「国語化の程度の高い語」は第1表、「国語化の程度がそれほど高くない語、ある程度外国語に近く書き表す必要のある語――特に人名・地名の場合――は第2表による
- ②現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録
 - 例、テイク [take] ⇒テーク デイ [day] ⇒デー
- ③借入時代の当時の語形を優先したものや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある
 - 例、スティール⇒スチール ウェブ [web] ネール [nail] ⇒ネイル デーサービス [日<day+service] ⇒デイサービス

▶ 同2.2：

- 原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音 2 つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定。
 - メイ [May] メーデー [May Day]
- 決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。
 - メイド [maid] ⇒メード

▶ 同2.3: 促音「ッ」の挿入や語末の長音の有無も2.2と同様の配慮を行った。

▶ 同2.4: ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-、-ti- などに -ディ-、-ティー- を当てるか、-ジ-、-チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならない。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

- 例、アーチチョーク⇒アーティチョーク アーティザン⇒アーチザン アーティスト⇒アーチスト ティーム [team] ⇒チーム ビルディング⇒ビルディング

▶ ウ濁音：空見出しとして本見出しにはしない

- 例、ヴ… ⇒バ…。 「ヴラマンク⇒ブラマンク」＊ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォ、ヴュはバ、ビ、ブ、ベ、ボ、ビュと表記。
- アヴェンジャー⇒アベンジャー

凡 例

0. 収録項目

0. 1 現在および過去も含めてカタカナで表記され、流通する語約 58,500 語を収録した。

0. 2 外来語のみならず、流行語や俗語などカタカナ表記されることの多い語、さらにアルファベットや数字交じりで表記される語まで、広く採録した。

0. 3 新規追加項目の採録にあたっては『大辞林 第四版』(2019 年刊)収録の最新の語をもとに、新たに採取した直近の語など新規に原稿執筆したものも含め、前版に比して約 2,200 語を増補した。

1. 見出し語

1. 1 見出し語は、カタカナの太字体活字を使用、五十音順に配列した。長音記号「ー」は直前の仮名を含む母音に対応する仮名と同じ扱いとして並べた。たとえば、**キーワード**は「キイワード」と同じとし、**キウイ**の前に置いた。

1. 2 清音・濁音・半濁音の順に配列した。ハンバン パン の順となる。

1. 3 **ウェストン祭**, **電子レンジ**, **関東ローム層**, **インダストリー 4.0**, **ジェネレーション X** のような和語・漢語・数字・アルファベットとの複合語は、その含むカタカナ語の見出しのもとに、追い込んで記述してある。ウェストン祭は**ウェストン**, 電子レンジは**レンジ**, 関東ローム層は**ローム**の項に全角下げて示した。

ケーブル
海底ケーブル
ケーブル編み
同軸ケーブル

1. 4 カタカナでは同一の表記になるが、原語の異なるものは、見出し語の右肩に¹ ² ³ の数字を付けて、別見出しとした。

バス¹ [bass] **バス**² [ド Bass] **バス**³ [bath]
バス⁴ [bus]

1. 5 原語が 2 つ以上の単語からなる複合語の場合、ハイフンの有無にかかわらず、見出し語には「-」を挿入した。これは見出し語の各要素の区切りを示すためであって、新聞・雑誌などで使用するときには省かれることもある。た

だし、原語がひとつづりのときは、「-」を用いない。

アイス・クリーム・ソーダ [ice-cream soda]
アイスフォール [icefall]

1. 6 **ATC**, **NHK**, **VIP**, **X 線**, **BA レート**, **US ダラー**, **3D**, **3x3**, **5G**などは「アルファベット略語」として巻末にまとめた。

2. 表記法

2. 1 原則として、昭和 29 年 3 月国語審議会発表の「外来語の表記」と平成 3 年の「外来語の表記」の内閣告示(巻末に収録)によったが、現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録した。借入時代の当時の語形を優先したものや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある。

2. 2 原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音 2 つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定した。

メイ [May] **メーデー** [May Day]

決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。

2. 3 促音「ッ」の挿入や語末の長音の有無も、**2. 2**と同様の配慮を行った。

2. 4 ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-, -ti- などに -ディ-, -ティー- を当てるか、-ジ-, -チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならない。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

3. 原語

3. 1 見出し語の直後に [] にくるんで示した。

3. 2 原語が ①英語(アメリカ英語を含む)と②固有名詞と ③直前の原語名と同一である場合(**3. 12** 参照)は、原則として、その原語名の表示を省略した。ただし、疑問のおきそうな場

コンサイスカタカナ語辞典の表記法

凡例 2. 表記法 2.1 :

- ①原則として平成3年内閣告示「外来語の表記」留意事項その1（原則的な事項）に拠る
 - 留意事項その1（原則的な事項）4：「国語化の程度の高い語」は第1表、「国語化の程度がそれほど高くない語、ある程度外国語に近く書き表す必要のある語——特に人名・地名の場合——は第2表による
- ②現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録
 - 例、**テイク** [take] ⇒ テーク **デイ** [day] ⇒ デー
- ③借入時代の当時の語形を優先したものや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある
 - 例、**スティール**⇒スチール **ウェブ** [web] **ネール** [nail] ⇒ ネイル
 - デーサービス** [日<day+service] ⇒ デイサービス

2. 表記法

2.1 原則として、昭和29年3月国語審議会発表の「外来語の表記」と平成3年の「外来語の表記」の内閣告示(巻末に収録)によったが、現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録した。借入時代の当時の語形を優先したものや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある。

2.2 原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音2つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定した。

メイ [May] **メーデー** [May Day]

決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。

2.3 促音「ッ」の挿入や語末の長音の有無も、**2.2**と同様の配慮を行った。

2.4 ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-, -ti- などに -ディ-, -ティ- を当てるか、-ジ-, -チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならない。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

コンサイスカタカナ語辞典の表記法

▶同2.2：

- ・原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音2つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定。

- ・**メイ** [May] **メーデー** [May Day]

- ・決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。

- ・**メイド** [maid] ⇒ **メード**

▶同2.3: 促音「ッ」の挿入や語末の長音の有無も2.2と同様の配慮を行った。

2. 表記法

2.1 原則として、昭和29年3月国語審議会発表の「外来語の表記」と平成3年の「外来語の表記」の内閣告示(巻末に収録)によったが、現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録した。借入時代の当時の語形を優先したものや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある。

2.2 原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音2つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定した。

メイ [May] **メーデー** [May Day]

決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。

2.3 促音「ッ」の挿入や語末の長音の有無も、**2.2**と同様の配慮を行った。

2.4 ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-, -ti- などに -ディ-, -ティ- を当てるか、-ジ-, -チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならない。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

コンサイスカタカナ語辞典の表記法

▶**同2.4:** ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-、-ti- などに -ディ-、-ティー- を当てるか、-ジ-、-チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならない。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

- 例、**アーチチョーク**⇒**アーティチョーク** **アーティザン**⇒**アーチザン**
- **アーティスト**⇒**アーチスト** **ティーム** [team] ⇒**チーム**
- **ビルジング**⇒**ビルディング**

2. 表記法

2.1 原則として、昭和 29 年 3 月国語審議会発表の「外来語の表記」と平成 3 年の「外来語の表記」の内閣告示(巻末に収録)によったが、現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録した。借入時代の当時の語形を優先したものや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある。

2.2 原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音 2 つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定した。

メイ [May] **メーデー** [May Day]

決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。

2.3 促音「ッ」の挿入や語末の長音の有無も、**2.2** と同様の配慮を行った。

2.4 ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-、-ti- などに -ディ-、-ティー- を当てるか、-ジ-、-チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならない。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

コンサイスカタカナ語辞典の表記法

▶ **ウ濁音**：空見出しとして本見出しにはしない

• 例、

• **ヴ…** ⇒ **バ…**。「ヴラマंक⇒ブラマंक」＊ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォ、ヴュはバ、ビ、ブ、ベ、ボ、ビュと表記。

• **アヴェンジャー⇒アベンジャー**

2. 表記法

2.1 原則として、昭和 29 年 3 月国語審議会発表の「外来語の表記」と平成 3 年の「外来語の表記」の内閣告示(巻末に収録)によったが、現実に行われている有力な別表記も、特にそれが離れた位置に配列される場合は、見出しとして収録した。借入時代の当時の語形を優先したものや、より現代の慣用を優先した語形に合わせたものなどもあり、必ずしも「外来語の表記」どおりではないものもある。

2.2 原音が二重母音である場合、カタカナ表記で、長音にするか、母音 2 つをもってするかは、現実の使用度を考慮して決定した。

メイ [May] **メーデー** [May Day]

決定しかねる場合は、できるだけ両形を示して、どちらからでも検索できるように心がけた。

2.3 促音「ッ」の挿入や語末の長音の有無も、**2.2** と同様の配慮を行った。

2.4 ラジオ [radio] チーム [team] のように表記が固定しているものは別として、一般に -di-, -ti- などに -ディ-, -ティ- を当てるか、-ジ-, -チ- を当てるかは、外来語の場合はそれぞれの移入の時代にもより、また個人差も考えなければならない。いずれか一方に決しかねるものは、できるだけ両形から検索できるようにした。

大辞林

- ▶ 2019年刊行
- ▶ 25万1,000語（データ版では約27万語）
- ▶ 古語から現代語までの国語項目
- ▶ 地名・人名・作品名などの固有名詞も収録



【凡例】

【編集方針】

- 一、この辞典は、現代の言語生活に立脚し、現代語を中心に古語や百科語をも含めた総合的な国語辞典として編集したものである。収録した項目は、日常用いる言葉はもとより、万葉集・源氏物語をはじめとするわが国古典にあらわれる語、医学・工学・物理学・法律・経済など各専門分野における用語、および地名・人名、漢字見出し語、アルファベット表記語など、あわせて約二十五万一千項目におよぶ。
- 二、言葉を形・音・義の三面からとらえ、書き表し方、アクセントを示し、丁寧な語釈・用法の記述に力点を置いた。
- 三、解説にあたっては、多義語は最初に現代語としての一般的な意味・用法を記し、そのあとに順次特殊な意味・用法、古語の意味・用法を記した。語の歴史の変遷にも意を用い、語源・語誌・用法などについても注記した。
- 四、国語項目については用例を重視し、現代語には作例を、古語には古典からの引用例を掲げることが基本とした。文法については、現在学校教育において最も普通に行われている一般的な考え方によることとした。
- 五、現代、熟語として一般によく用いられる漢字約三二〇〇を選び、漢字見出し項目として、その漢字音・意味および熟語例を示した。
- 六、解説の助けとして、約二六〇〇の図版と約一二〇の図表を掲げた。
- 七、「季語」「敬語」「仮名」「漢字」「辞書」「国語施策」など、文字・語彙・国語などに関する重要項目、および「万葉集」「源氏物語」など古典文学の重要項目については、巻頭に二色刷りの「特別ページ」を設けて詳しく解説した。
- 八、検索の便を考慮し、人名には●、地名には◆のしるしを付した。
- 九、アルファベットや算用数字で表記される語の増える傾向を考慮し、「アルファベット・その他」としてまとめ、五十音の項目に続けて配置した。
- 十、巻末に、各品詞の活用表・主要助詞一覧、国語施策各文書「現代仮名遣い」「送り仮名の付け方」「ローマ字のつづり方」「外来語の表記」、また、「人名用漢字」、漢字・難読語一覧、和暦・西暦対照表、西暦・和暦対照表を収めた。

【見出し】

一、見出しの示し方

(1)見出しは原則として「現代仮名遣い」(昭和六一年七月内閣告示、平成二二年一

凡例七

大辞林の表記法

- ▶ 2019年刊行
- ▶ 25万1,000語（データ版では27万語超）
- ▶ 古語から現代語までの国語項目
- ▶ 地名・人名・作品名などの固有名詞も収録

一月一部改正)の方式によって太字(ゴシック体)の仮名で示した。
(2)和語・漢語は平仮名、外来語は片仮名で示した。(あくまでその語の由来がどこにあるか、という語種の観点に立脚したものであり、慣用的にどう仮名表記されるかを示すことはしなかった。)

あおいひまわり【葵】 あいさい【愛妻】 はなぢ【鼻血】
みかづき【三日月】 とんこう【敦煌】 カップ【カップcapa】
外来語は原則として「外来語の表記」(平成三年六月内閣告示)によって示し、長音を表すには「ー」を用いた。また、「ヴ」は用いず、「バ・ビ・ブ・ベ・ボ」を用いた。

ハープ【ハープharp】 バイオリン【バイオリンviolin】 ベネチア【ベネチアVenezia】
マージャン【マージャンma-jan】(中国語)
(3)子見出しとなる見出しは、親見出しと重なる部分を「―」で省略した。「見出しの配列」参照

がっこう【がっこうgakkou】学校】……。 ―い【いi】学校医】……。 ―きゅうしよく【きゅうしよくkyoushikyoku】
【学校給食gakkou-kyokushoku】……。 ―きょういくほう【きょういくほうkyouikuhou】学校教育法】……。
(4)子見出しとなる慣用句・ことわざなどの句項目は、行を改めて漢字仮名交じりの太字で示した。

あげく【あげくageku】挙げ句・揚げ句】……。
挙げ句の果て
(5)その語に従えられる子見出しも含め、解説の行数の多い見出しは大きめの二行取り見出しとした。

あいさつ【あいさつaisatsu】挨拶】……。 ―じ【じji】挨拶語】……。
(6)アルファベットによる略語をはじめ、アルファベットや数字・記号を直接用いて表記されることが多い語は、五十音の項目の後に続けて横組みの「アルファベット・その他」を置き、そこで解説した。

ATM【automated-teller machineatm】……。 (横組み)
ただし、慣用的なつづり読みの読み方がある場合は、外来語に準じて片仮名で見出しを立て、配置したものもある。
アスキー【asciiascii】……。 ラン【lanlan】……。
なお、検索の便をはかるため、アルファベットをそのまま読んだ場合の見出しを



【見出し】

一、見出しの示し方

(1) 見出しは原則として「現代仮名遣い」（昭和六一年七月内閣告示、平成二二年一月一部改正）の方式によって太字（ゴシック体）の仮名で示した。

(2) 和語・漢語は平仮名、外来語は片仮名で示した。（あくまでその語の由来がどこにあるか、という語種の観点に立脚したものであり、慣用的にどう仮名表記されるかを示すことはしなかった。）

あおい^{ひあふ}①【葵】

あいさい①【愛妻】

はなぢ①【鼻血】

みかづき①【三日月】

とんこう^{わんく}①【敦煌】

カップ①^{ガルト}【capa】

外来語は原則として「外来語の表記」（平成三年六月内閣告示）によって示し、長音を表すには「ー」を用いた。また、「ヴ」は用いず、「バ・ビ・ブ・ベ・ボ」を用いた。

ハープ①【harp】

バイオリン①【violin】

ベネチア^{ボルト}【Venezia】

マージャン①【麻雀】^{中国語}

(3) 子見出しとなる見出しは、親見出しと重なる部分を「ー」で省略した。（「見出しの配列」参照）

大辞林の表記法

- ▶ 和語・漢語は平仮名、外来語は片仮名で示した。（あくまでその語の由来がどこにあるか、という語種の観点に立脚したものであり、慣用的にどう仮名表記されるかを示すことはしなかった。）
- ▶ 外来語は原則として「外来語の表記」（平成三年六月内閣告示）によって示し、長音を表すには「ー」を用いた。また、「ヴ」は用いず、「バ・ビ・ブ・ベ・ボ」を用いた。

「アクセント」

- (1) 見出し語のうち、現代語および現代でも使用されることのある語にアクセントを示した。ただし、方言、古語、人名・地名・作品名などのいわゆる固有名詞、仏教その他専門分野の特殊な用語、歴史的用語、個別の法律名および付属語・連語などには原則として示さなかった。また、二語以上の要素から成る語で一語化の度合が薄く、それぞれの構成要素のアクセントから類推できると思われる語にも示さなかったものが多い。
- (2) 本辞典で示したアクセントは、現在テレビ・ラジオなどで用いられている全国共通語のアクセントである。
- (3) アクセントは単語ごとに、高く発音される部分から低く発音される部分へ移る境目の音が何番目の音であるかを①②③…によって示した。低くならない語は④とした。動詞・形容詞など活用する語は、見出し語としての終止形のアクセントのみを示した。また「十人十色」(ジューニン・トイロ)(傍線の部分を高く発音する)などのように、一つの見出し語に二つのアクセントの単位を含むものは①ー①のように示した。

大辞林の表記の考え方・方針

- ▶ 膨大な語数（約27万語）のため、個別の判断は困難
- ▶ 外国人名・外国地名も多く、「外来語の表記」留意事項その1（原則的な事項）に基づき、第2表に拠る（ただし、ウ濁音は用いない）
- ▶ それ以外の外来語は第1表に拠る
- ▶ 規範の求められる「辞書」は記述内容の規範にとどまらず、統一的な形式が求められるため、この観点からも「外来語の表記」の原則的な事項に拠ることが有効
- ▶ また、アクセントの表示があることから、発音と表記の一致が必要

大辞林の表記の考え方・方針

アクセント（発音）を示す

- ▶ 「ウィーク」は2音節（2拍）目にアクセントが来るので、[2]が表示されるが、「ウィーク」だと「ウィ」で1音節なので[1]になってしまう。
- ▶ 大辞林では、人名・地名・作品名などの固有名詞などにはアクセントを付さないので、第2表に準じてても発音との不整合は生じない。

ウエール^②〔wale〕 コーデュロイなど織物の畝^ね。
ウェールズ^②〔Wales〕◆イギリス、グレートブリテン島南西部の半島状の地域。中心都市カーディフ。ケルト人の居住

ウィーク^②〔week〕 週。

「アクセント」

- (1)見出し語のうち、現代語および現代でも使用されることのある語にアクセントを示した。ただし、方言、古語、人名・地名・作品名などのいわゆる固有名詞、仏教その他専門分野の特殊な用語、歴史的用語、個別の法律名および付属語・連語などには原則として示さなかった。また、二語以上の要素から成る語で一語化の度合が薄く、それぞれの構成要素のアクセントから類推できると思われる語にも示さなかったものが多い。
- (2)本辞典で示したアクセントは、現在テレビ・ラジオなどで用いられている全国共通語のアクセントである。
- (3)アクセントは単語ごとに、高く発音される部分から低く発音される部分へ移る境目の音が何番目の音であるかを①②③…によって示した。低くならない語は①のみを示した。また「十人十色」(ジュニン・トイロ)(傍線の部分を高く発音する)などのように、一つの見出し語に二つのアクセントの単位を含むものは①ー①のように示した。

発音と表記の乖離

▶ マネジャー／プロフィール

- ・特に新聞用語では「マネジャー」「プロフィール」とされるが、はたして発音はそうのようにされているだろうか
- ・国語辞典・カタカナ語辞典では、「マネージャー」「プロフィール」とし、「マネジャー」「プロフィール」は空見出しとするか、「～とも」とするかである

▶ ワイヤ／パーカ

- ・ほとんどの国語辞典・カタカナ語辞典がこの表記であり、「外来語の表記」も「ワイヤ」とするが、実際には「ワイヤー」「パーカー」とする発音が多いのではないか
- ▶ いずれも原語に近づける意識からの表記だと思われるが（日本語）発音との乖離があるのではないだろうか（外来語は「もと、外国語だったものが、国語の中に取り入れられた言葉」〈新明解国語辞典第八版〉であり、日本語としてその音韻体系の中で定着したもの。当然、外国語とは音韻体系が異なる。）

「外来語の表記」が対象としていない語への対応①

「デーサービス」か「デイサービス」か

- ▶ [day] は「デー」が主見出し。「防火デー」「結核予防デー」
- ▶ 「デイサービス」「デイトレード」などは「デイ～」が主流。
- ▶ 「デイサービス」「デイトレード」を主見出しとし、「デーサービス」「デートレード」を空見出し。

デー³ [day] デイとも。①昼, 日中。〈明〉＊単位として1日。d。⇔ナイト。②「…の日, …のための日」の意味で複合語をつくる。「防火デー, 結核予防デー」など。〈明〉

デイ-サービス [日<day + service] 日帰り介護。障害を持つ在宅老人に対して, 生活動作の訓練, 食事や娯楽の提供などを行う事業。特別養護老人ホームや老人福祉センターを使って行う。〈現〉⇨デイ-ケア

デイ-トレード [day trade] 1日のうちに売買を完了させて利鞘(りさ)を得るような, 株式の取引手法。オンライン取引の普及により一般化したもの。デイ-トレーディングとも。〈現〉⇨デイ-トレーダー

デー-サービス ⇨デイ-サービス

デートレーダー [day trader] ⇨デイ-トレーダー

デートレーディング [day trading] ⇨デイ-トレード

デートレード [day trade] ⇨デイ-トレード

「外来語の表記」が対象としていない語への対応②

「サステナブル」か「サスティナブル」か「サステイナブル」か

- ▶ 2019年当時は「サステナブル」「サスティナブル」「サステイナブル」が混在
- ▶ 集めた使用例の集計数を参考とし、また日本語の音韻として定着しやすさが見込まれる「サステナブル」を主見出しとして採用

サステイナビリティ [sustainability] ⇨サステナビリティ

サステイナブル [sustainable (持続可能な)] ⇨サステナブル

サステナビリティ [sustainability (持続可能性)]
【社会課題】生物資源(特に森林や水産資源)の長期的に維持可能な利用条件を満たすこと。広義には、自然資源消費や環境汚染が適正に管理され、経済活動や福祉の水準が長期的に維持可能なことをいう。サステイナビリティとも。〈現〉

サステナビリティ報告書 企業が環境問題や社会問題への考え方・取り組みなどを自ら公表するもの。〈現〉⇨CSR

サステナブル [sustainable (持続可能な)] ～な 持続可能であるようす。維持が可能であること。また、環境を破壊せずに維持できること。環境保全。環境保護。サステイナブルとも。〈現〉

外来語の位置付け

「外国語由来の日本語」か「日本語化した外国語」というグラデーション

- ▶ 「もと、外国語だったものが、国語の中に取り入れられた言葉」 （新明解国語辞典第八版）
- ▶ 「外国語から借用されて日本語の語彙の一員として使用されるようになった語」 （日本語学会編『日本語学大辞典』p.122「外来語」）
- ▶ 「外来語を表記するにあたって、外国語の形に近づけて書き表そうとする意見となるべく日本語化した平易な表記を採ろうとする意見がある」 （同 p.124「外来語の表記」）
- ▶ 「新聞は従来、外来語を外国から日本語に取り入れられた言葉としてとらえ、日本人が通常話す音韻の範囲で表すという立場をとってきた。（中略）しかし、英語教育の普及や国際化の進展により、「日本人が通常話す日本語の音韻の範囲」自体が広がり、原音・原つづりに引かれた形の表記が世間一般で好まれるようになった。「外来語」でなく「カタカナ語」という言い方をする傾向があるのは、日本語として熟した外来語ではなく、外国語（主に英語）の音に近いカタカナに置き換えた語が多くなったからでもある。外国語の感じを残したままを取り入れ、その雰囲気を表記のうえでも表したいという気持が一般に強い。そうした現状を踏まえ、原則の見直しや用例の追加・変更が随時、行われている」（関根健一「新聞の外来語はどのように生まれるか」陣内正敬・田中牧郎・相澤正夫編（2012）『外来語研究の新展開』おうふう）

アクセント辞典、新聞用語との比較対照

* の表記形は第2表の表記および外国語の原音・原つづりに近づけたもの

大辞林4	コンサイスカタカナ語5	NHKアクセント	記者ハンドブック14版 (共同通信社)	朝日新聞の用語の手引 改訂第2版
ウエア	ウェア*	ウエア	ウエア	ウェア*
ウィーク	ウィーク	ウィーク	ウィーク	ウィーク*
ウィーン*	ウィーン*	ウィーン*	ウィーン*	ウィーン*
ウエスト	ウエスト	ウエスト	ウエスト	ウエスト
ウエディング	ウェディング*	ウエディング	ウエディング	ウェディング*
ウェブ*	ウェブ*	ウェブ*	ウェブ*	ウェブ*
(ネイル⇒) ネール	(ネール⇒) ネイル*	ネイル*	ネイル*	ネイル*
(メイン⇒) メーン	(メイン⇒) メーン	メイン*	メイン*	メイン*
(テイク⇒) テーク	(テイク⇒) テーク	テイクアウト*	テイクアウト*	テイクアウト*

まとめ

- ▶ コンサイスカタカナ語辞典は、当初は「外国語」も意識した編集方針から「外来語の表記」第1表よりは第2表に近い表記も散見されるが、近年の版においては「原則的な事項4」に寄せてきている
- ▶ 大辞林および多くの国語辞典も「外来語の表記」を表記法の基準とする
- ▶ 特に、アクセントを示すことから発音のしばりがあり、また項目数も多く固有名詞も多い大辞林には、第1表と第2表の使い分け原則が有効
- ▶ 外国語の原音や原つづりに近づけるあまり、日常通用する発音とずれの大きい表記もある（「マネジャー」「ワイヤ」「パーカ」「プロフィール」）
- ▶ カタカナ語辞典・国語辞典は「外来語の表記」原則からはずれる表記形については空見出し、もしくは「～とも」の注記で対応
- ▶ 辞書に求められる規範性、特に表記基準の一貫性という観点からも現状の「外来語の表記」は辞書の表記法の基準・拠り所として有効と考えられる